

電気電子工学科の人材養成の目的

【学部の人材養成の目的】

工学部は、人と自然環境に調和した新しい科学技術の創造と豊かな社会の構築を目指すため、幅広い教養と倫理観及びコミュニケーション力からなる基盤能力とそれぞれの分野における高度な専門能力を兼ね備え、独自の発想で課題を解決できる人材を養成することを目的とする。

【学科の人材養成の目的】

電気電子工学科では、社会生活を送るうえで必要となる知識・理解、汎用的技能、態度・志向性、創造的思考力の修得のもとに、電気エネルギー分野から情報・エレクトロニクス分野までをカバーする広範囲なカリキュラムを通じて電気電子工学関連の知識・技能を修得し、我が国及び地域社会の活性化に貢献する次のような技術者を養成する。

- ①現代社会の基盤（インフラ）を支える電気エネルギーシステムを環境に配慮しながら開発・管理・運用できる技術者
- ②豊かで便利な生活環境を提供する様々な情報・エレクトロニクス機器を創造・開発・製造できる技術者

電気電子工学科ディプロマ・ポリシー

電気電子工学科は、「科学的市民」の育成という教育理念のもとに以下の資質や能力を身につけ、所定の授業科目を履修して卒業に必要な単位を修得した学生に、学士（工学）の学位を授与します。

1. コミュニケーション力

論理的な思考力、記述力、発表と議論の能力を有し、文化やバックグラウンドが異なるコミュニティとの交流・情報交換や、他者と適切なコミュニケーションを取ることができる。

2. 課題発見解決力

直面する問題を科学的かつ論理的に分析して課題を整理・説明する能力を有し、他者に働きかけ協力を得ながら解決案を構築し提案することができる。

3. 自らを律し、学び続ける力

目標達成のための計画を立案・遂行できる能力を有し、工学に関連する知識・技術を、自主的かつ継続的に学習することができる。

4. 多様な視点から物事を捉え、異なる意見を理解する力

持続可能な社会の実現に向けた科学技術の役割と責任を理解し、多様性を尊重しながら他者との共生に向けた行動をとることができる。

5. 専門的知識・技能を修得し、実践する力

電気電子工学に関する基礎知識と各分野（エネルギー系、情報・エレクトロニクス系）の専門知識・技能を修得し、様々な課題に応用できる。

6. 総合力

基盤能力と専門知識・技能を活用して、社会に存在する課題や、解決に長期間を要する現実的な問題に取り組むことができる。

電気電子工学科カリキュラム・ポリシー

電気電子工学科では、HUS スタンダード科目、学部共通科目、専門教育科目の有機的な結合によって、電気電子工学技術者としての専門能力と専攻分野を通じて学士力を培うことを目指したカリキュラムを設計します。このことを明確にするために、ディプロマ・ポリシーの各項目を達成するために必要な授業科目の流れや、各項目と授業の整合性・関連性を体系的に理解できるようカリキュラム・ツリーを作成します。さらに、教員団はその組織的関与により、常にカリキュラムの点検評価、及び改善を行います。学修成果やカリキュラムの点検評価の方針をアセスメントプランとしてまとめています。

1. 基盤能力の修得に向けて①コミュニケーション力、②課題発見解決力、③自らを律し、学び続ける力、④多様な視点から物事を捉え、異なる意見を理解する力を養う HUS スタンダード科目を配置します。
2. 専攻分野に必要な基本スキルを育成するための HUS スタンダード科目、学部共通科目を配置し、領域ごとに最適化された専門知識・技能修得のための専門教育科目を配置します。
3. 基盤能力と専門的知識・技能に関連する科目を体系的、効率的に修得できるよう配置します。
4. 自ら学ぶ力の醸成や能動的学修をサポートするため、充実した学内 LAN 環境、e-learning 環境などの優れた IT 環境を提供します。
5. エネルギー系と情報・エレクトロニクス系の知識・技能を基礎から応用まで体系的に修得できる専門教育科目を配置します。
6. 資格取得のための科目を正課の中に組み込み、実践的能力と自律的学習能力を育成します。
7. 少人数グループで行う調査・実験・PBL を通して、協力・協調する姿勢と自ら課題を発見し、問題を解決する能力を育成します。
8. 各授業科目の成績評価については、成績評価ガイドラインに則り、厳格かつ公正に行います。
9. 学生の学修成果については、アセスメントプランに定めた方法及び収集した情報に則り、評価します。

電気電子工学科 アドミッション・ポリシー

① 基本方針

高度に発展した現代社会を支えているのが電気エネルギーと種々の情報・エレクトロニクス応用機器であり、その学問領域は電気・電子・情報工学です。電気工学は、社会を支える基盤工学として位置づけられ、安全で環境にやさしい電気エネルギーシステムを構築・運用するために必要な学問です。また、電子工学は現代人に欠かせない情報・エレクトロニクス機器や自動車・ロボット・通信ネットワークなどに応用され、人々の生活を豊かにするとともに安全を守るのに役立てられます。情報工学はこれらの技術を高度化し、安全性や利便性を高め、活用範囲を広げることができる学問です。このような背景を持つ電気・電子・情報工学についての教育・研究を行います。

そのために、以下のような資質・能力・意欲を持った学生を受け入れます。

② 求める人材像と学力の3要素

求める人材像		知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協働性
電気・電子・情報工学に興味があり、熱意と情熱を持って勉学に取り組める人	→	◎	△	○
電気・電子・情報工学関連の各種実務系資格の取得を目指す人	→	◎	○	△
電気・電子・情報工学を活用して人類が抱えるエネルギー・環境問題を解決したいと考える人	→	△	○	◎
電気・電子・情報工学を学ぶための基礎学力を有し、高い勉学意欲のある人	→	◎	○	△

③ 学力の3要素と求める多面的な評価

学力の3要素							
知識・技能	→	学力試験	調査書	発表	推薦書	面接	口頭試問
思考力・判断力・表現力	→	学力試験	調査書	発表	課題提出	面接	
主体性・多様性・協働性	→	推薦書	面接	自己推薦書			

④ 入学者選抜方法における評価の比重

入学者選抜方法	学力試験	調査書	発表	課題提出	推薦書	面接	自己推薦書	口頭試問
総合型選抜	△	—	◎	—	—	○	△	—
学校推薦型選抜(系列校)	—	○	—	○	○	◎	—	△
学校推薦型選抜(指定校)	—	○	—	—	○	◎	○	△
学校推薦型選抜(公募)	△	△	—	—	○	◎	○	—
自己推薦型選抜	○	△	—	—	—	◎	○	—
一般選抜[前期・後期学力型]	◎	—	—	—	—	—	—	—
一般選抜[後期総合評価型]	◎	△	—	—	—	○	—	—
一般選抜(共通テスト利用選抜)	◎	—	—	—	—	—	—	—
外国人留学生選抜	○	—	—	—	—	◎	—	—

⑤ 入学前に習得すべき内容・水準

- ・社会における諸問題を解決するため、幅広い分野の基礎知識を習得していること。
- ・高等学校等において、明確な目的意識を持って主体的に学ぶ姿勢を経験していること。
- ・電気・電子・情報工学を中心とする学士課程教育を学ぶための必要な基礎学力(国語、外国語、数学、理科、情報、地理歴史、公民)を有するとともに、基本的な概念や原理・法則を理解し、基礎的な事象においては、論理的に考察し、処理する能力を有していること。

※記号(◎, ○, △)は重要度の順序を表しています。